

令和 3 年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

NO. 3

評価段階 4 : 期待以上 3 : ほぼ期待どおり 2 : やや期待を下回る 1 : 改善を要する

学校経営
ビジョン

○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りを持ち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。
— かしこく やさしく たくましく —

〈体 育〉

○ 体力の向上と安全意識

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
体 育	1 運動を好み楽しむための指導	○ 体育専科教員により、充実した体育の授業が実施できた。 ○ 授業を計画的に行うと共に、体育振興指導員の積極的活用も行い、児童の体力向上を図ることができた。 ※ 常に感染症対策を行いながら授業を実施した。	3.00	3.41	3.30	○ 体育専科の先生の常に感染対策を行いながらの充実した授業は大変だったと思う。 ○ 体育専科の先生の充実した授業や体育振興指導員の積極的活用でよい指導をされていることがうかがえる。 ○ 体育専科教員の授業が分かりやすく運動しやすい。
	2 立腰と鉛筆・箸の持ち方の常時指導	○ 立腰については、授業時、給食時などで、常に指導を行ってきたので、定着してきている。 ○ 正しい鉛筆の持ち方の定期検査を行い、指導に生かしている。	2.31	3.27	3.00	○ 1年生の立腰指導は徹底して行われており、入学当初よりとてもよくなっている。 ○ 鉛筆の持ち方の指導は難しいと思う。 ○ 授業の始まりと終わりに立腰の指導を取り組まれていて子どもたちに身に付きやすい。 ○ 各家庭との連携が大切だと思う。家庭での指導が足りないと思う。 ○ 立腰の姿勢が素晴らしい。
	3 望ましい生活習慣と感染症予防	○ 学校における手洗い、消毒、マスク着用などほぼ習慣化できている。 ○ 予防に関わる環境（手指消毒、共有物や机等の消毒）、換気など取り組むことができた。 ○ フッ化物先口も習慣化できた。保護者、職員への治療率の提示を行い、虫歯治療の啓発を行った。 ※ 歯の治療率56.8%	3.17	3.50	3.20	○ 感染症対策は習慣化してきているようで、これからも継続してほしい。 ○ フッ化物洗口を取り組んでいただくのはありがたい。 ○ 感染対策として、寒い冬でも窓を開ける等の取組をされていた。 ○ 手洗い、消毒、マスク着用によりコロナ対策を学校全体で行っていて素晴らしい。
	4 危険を回避する意識の向上	○ 熱中症対策について、児童自ら判断して行動できるように常時指導を徹底してきたので、水分補給などこまめに行い、健康への意識を高めた。	2.94	3.35	3.00	○ 自分の身を守るための指導はとても大切である。災害や天候に対応した指導はありがたい。